



輸送業のSDGs入門

最近よく耳にしたり、目にしたりするようになったSDGs※(エスディーゼーズ:持続可能な開発目標)。これは、2015年に国連が採択した国際目標です。2030年に向けて、先進国を含む国際社会全体が、持続可能でより良い世界を目指すために立てられました。

17の目標と169のターゲットで構成されており、今では政府や自治体だけでなく、民間企業でも取り組む機運が高まっているところです。今回は、SDGsの取り組み効果やその手順、輸送業界における取り組み事例について紹介します。

※: Sustainable Development Goals

SDGsはビジネスチャンス

SDGsへの取り組みは、企業に課せられた義務ではありません。しかし、ビジネス世界で共通言語になりつつあるSDGsに取り組むことは、新規事業の獲得や、投資先からの信頼アップ、企業イメージの向上による人材確保などさまざまなメリットをもたらします。SDGsを自社のビジネスチャンスとして捉え、できることから取り組んでみてはいかがでしょうか。

〈SDGs取り組みによるメリット〉

利益アップ

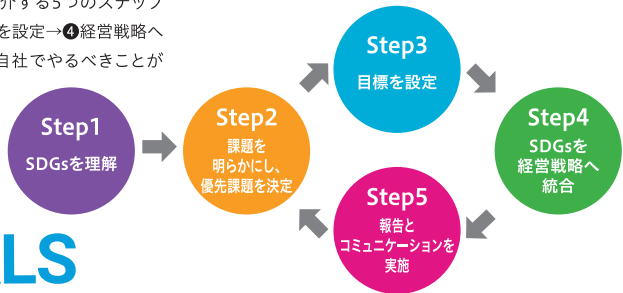
- ・取り組みを通じ新たな事業機会を獲得
- ・付加価値が生まれ価格競争を回避
- ・投資先として選ばれ資金調達が有利に など

ブランドカアップ

- ・人や環境に優しい企業イメージの定着
- ・取引先や地域社会からの信頼獲得
- ・企業イメージの向上で人材を確保 など

SDGsを進める「5ステップ」

多くのメリットをもたらすSDGs。では実際に取り組む場合、どこから手をつけていけばよいのでしょうか?次に紹介する5つのステップ(①SDGsを理解→②優先課題の決定→③目標を設定→④経営戦略へ統合→⑤社内外への報告)を進めていくと、自社でやるべきことが見えてきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

実は取り組んでいる? 輸送業界のSDGs

SDGsへの取り組みは、一見難しそうに感じられるかもしれませんが。しかし輸送における燃費改善や輸配送の効率向上など、すでに取り組まれている活動はSDGsの「環境課題解決に向けた目標」につながります。改めて自社の活動内容をSDGsとひも付けられるか検討してみましょう。

〈輸送業のSDGs活動事例〉

- ・エコドライブ活動の実施
- ・倉庫内の照明のLED化
- ・会社周辺の清掃活動 など



環境に配慮した車両の積極的導入もそのひとつ。

SDGsの取り組み手順および事例については、今後の号で詳しく紹介していきます。

出典:環境省「すべての企業が持続的に発展するために -持続可能な開発目標(SDGsエスディーゼーズ)活用ガイド-」[第2版]、公益財団法人 東京都中小企業振興公社「SDGs経営ハンドブック」、埼玉県「トラック輸送業界のための環境から始めるSDGs活動のヒントと事例」